

■米国：カリフォルニア州公益事業委員会、ディアブロキャニオンの閉鎖を承認

カリフォルニア州公益事業委員会（CPUC）は2018年1月11日、州内で唯一運転しているディアブロキャニオン原子力発電所を2025年までに閉鎖するとするPG&E社の提案を全会一致で承認した。PG&E社は2016年8月、ディアブロキャニオンの運転ライセンスの満了（1号機：2024年、2号機：2025年）をもって閉鎖する計画をCPUCに申請していた。CPUCのマイケル・ピッカー委員長は、「ディアブロキャニオンは長年にわたり信頼性の高いクリーンな電力と雇用の源泉となっている。しかし発電所はもはや経済的ではなく、PG&E社は閉鎖を求めている」と語った。発電所の閉鎖は、PG&E社、労働組合、環境団体により共同提案されたもので、閉鎖の理由として、再エネとエネルギー効率化に焦点を当てた州の政策と、電力需要の伸び悩みをあげていた。また、PG&E社もベースロード電源が、カリフォルニア州が進めている再エネ目標50%といった政策に合致しなくなったと閉鎖理由を述べていた。